



発行所 桐生タイムス社
桐生市東四丁目5-21 0277-46-2511(代)
〒376-8528 郵便振替00310-5-12247

桐生タイムス

購読料 100円
1か月2020円(本誌1872円)
1年20200円
0120-89-4946



あすの天気
最高気温 30.0度
最低気温 22.0度

8月16日 木曜日

2018年(平成30年) 第19660号

社告

桐生タイムス社広告グループ

正社員を募集

桐生タイムス社は、広告グループの正社員(若手)を次の要領で募集します。

【職種】 広告営業
【応募資格】 40歳までの(若年層の長期キャリア方)
【待遇】 給与は当社規定

【選考方法】 履歴書(写真貼付)ならびに職務経歴書を8月31日必着で、下記のとおり先にお送りください。書類選考後、面接をお知らせします。

【勤務】 平日9時～18時(土・日・祝日休)

猛暑のき 泥かき 20分ごと10分休憩

桐生災害支援ボランティア、岡山・真備町へ



岡山県倉敷市真備町でボランティアをする参加者ら

桐生災害支援ボランティアセンター(宮地由緒センター長)の主催する「第3次泥かき隊」のボランティアが、西日本豪雨で被災した岡山県倉敷市真備町を訪れ、浸水した家屋の復旧作業に汗を流した。

家の処遇、判断に悩む住民

「壁面・天井取り壊しなどニース増えそう」

今回の泥かき隊に、民など4人が参加。10日は、太田医療技術専門学校(太田市東長岡町)の救急救命学科と歯科衛生士学科の学生・教諭ら20人をはじめ、桐生支所の地域在住の市アセンタを経由して真備町に入ったボランティアは、中マスクに「ニース」の手袋をはき、厚手の手袋をはき、水に浸った壁面や天井を取り壊して風通しをよくしたり、2階の

家財道具を1階に下ろすなど、力仕事に専念した。熱中症対策として、現場では20分ごとに10分の休憩をはきむしり、2階に近い水分を補給しながら、作業は約4時間続いた。水害から1カ月がたち、真備町のボランティアは延べ2万人を超えている。1階部分の倉敷市のボランティアアセンタで事前説明を受けて参加者ら

も多いが、外見だけ見れば被害は見えにくい。ただ、壁の中の断熱材などは水を吸い、腐食や衛生面での課題は大きい。今後、壁面や天井の取り壊しといった作業ニースが増えるのでは」と松井さん。

今回は10代、20代の若いボランティアが被災者と対話する機会も多く、勉強になったのでは」とも。

第4次派遣も検討
桐生災害支援ボランティアセンターでは、盆明けにも会議を開き、現地のボランティアセンターの最新情報などをもち、第4次泥かき隊の実施についても検討するところ。



による。社会保険完備(選考方法)履歴書(写真貼付)ならびに職務経歴書を8月31日必着で、下記のとおり先にお送りください。書類選考後、面接をお知らせします。